

# 中期運営計画

( 令和5(2023)年度～令和9(2027)年度 )

令和4年(2022年)12月

一般財団法人箕面市障害者事業団



# 目次

I. 計画策定にあたって	1
II. 事業団の目的	2
III. これまでの取り組みと課題	2
1. 直接雇用の場	2
2. 市内事業所との連携	3
3. 就労支援事業	4
4. 管理事業	4
IV. 本計画における運営の基本方針	5
V. 目標及び事業展開	6
1. 重点事業	6
①環境クリーンセンター受入対応等業務	6
②箕面市障害者雇用支援センターの取り組み強化	8
③収益事業の収益改善に向けた取り組み	10
2. その他の事業	11
パイロット事業、啓発事業	11
受託事業、その他パイロット事業（障害者優先調達事業）	11
豊能北障害者就業・生活支援センター、相談るうぷ	12
管理事業	13
VI. 収支計画	14
VII. 進捗管理	15
※【参考】	
元号西暦対照表	15



## I. 計画策定にあたって

箕面市障害者事業団（以下、「事業団」という。）は、平成2年6月に市民、障害者団体、箕面市の3者が協力し、財団法人として設立されました。現在、箕面市の外郭団体として「働く場づくり」を通してノーマライゼーションの推進に寄与することを目的に、箕面市や関係団体と連携しながら各種事業を実施しています。

平成24年4月には、一般財団法人に移行し、140年間の「公益目的支出計画」の認可を受けています。

事業団が行う各種事業は、箕面市障害者市民の長期計画（みのお‘N’プラン）をはじめとする各種計画を実行する上で重要な役割を担っており、今後も、継続的な運営が求められています。

本計画では、令和3年度からの「財政再建プロジェクト」の取り組み状況も踏まえ、収支面で安定した事業運営を行うべく、令和5年度から9年度までの5か年の行動目標を設定します。

令和5年度からは、「環境クリーンセンター受入対応等業務」へ参画することで、予算規模が拡大します。

また、令和5年度から1号職員が漸次定年を迎えるため、継続雇用と新規採用とのバランスを図りつつ、事業継続に必要な障害者人材の確保に努めます。

### 本計画の不確定要素

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響

本計画における収支見込等では、この間の大規模な行動抑制を伴う宣言等の影響を上回る情勢の変化はないものとします。

- ・ 障害者総合支援法等の報酬改定

本計画における収支見込の根拠となる報酬単価等は、計画策定時点から変更はないものと想定します。

## Ⅱ. 事業団の目的

### □ 設置目的

事業団は、障害者の職業的、社会的自立を促進するとともに、事業を通して基本的人権の尊重と市民文化の高揚を図り、もって市民福祉の向上に寄与することを目的として設立された公益法人です。

### □ 箕面市の外郭団体

事業団は、設立時に箕面市から10億円の出捐金を受けました。このため、事業内容について箕面市へ報告・相談を行うとともに、毎年度の経営状況等について、箕面市議会への報告や市民への公表を行っています。

### □ 公益目的支出計画

事業団は、平成24年4月1日の一般財団法人への移行時において、法律に基づき、その時点の残余財産約13億3千万円を「公益目的財産」として、移行後140年間で公益事業に支出する「公益目的支出計画」を作成し、認可を受けています。

### □ 箕面市内の障害者事業所への支援

事業団は、箕面市の補助金を得て、本事業団職種開拓育成事業の適用を受けた事業所への助成を行うとともに、自主的に職種開拓事業を実施する市内事業所に対し、本事業団独自の支援を行っています。

## Ⅲ. これまでの取り組みと課題

### 1. 直接雇用の場合

「重度障害者の働く場づくり」は、事業団の原点です。各現場で働く1号職員13名とともに実践活動を続けてきました。

令和3年度は23年ぶりに1号職員を採用し、職場定着のために職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援を活用しています。

加齢に伴う体力低下など課題がある1号職員には、時短勤務や業務内容などの見直しを行いました。制度の活用や支援機関等との連携を通して、安心して働き続けられる環境について検討を重ねています。

平均年齢は50歳を超え、令和5年度末から漸次定年を迎えます。本人の意向や体力等のバランスを考え、継続雇用やセカンドステージの選択等について多角的に検討します。また、加齢や障害の重度化によっては、ジョブローテーションの実施や支援内容の再考も考えられます。これらはあまり先例がなく、個人差もあるため難しい課題ですが、情報収集に努めながら対応していきます。

#### <定年（60歳）の予定>

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
2名	1名	0名	0名	1名

## 2. 市内事業所との連携

箕面市の助成金を原資に、障害者事業所3事業所に対して助成を行いました。

また、事業団の要綱に基づき、自主的に職種開拓事業を実施する市内障害者事業所に対し、事業団独自の支援を行いました。

その他パイロット事業として「図書館資料修理装備等業務」「総合保健福祉センター建物清掃業務」を事業団が箕面市より受託し、市内事業所へ再委託しています。あわせて、重度障害者の職域拡大や障害者事業所等の収益向上のため、民間企業への物品提供調整等の販路開拓を行いました。

市内事業所の収益確保は喫緊の課題です。令和4年度に設置した「優先調達事業等調整会議」の場を活用しながら、一事業所では対応が難しい役務提供や収益向上策について情報交換を行っていきます。

なお、事業団は市内事業所の1つではありますが、事業団のスケールメリットを活用できる場合には、適宜、調整役を担っていきます。

#### 【上記の背景】

令和2年度の都道府県別平均工賃（月額）

全国平均 15,776円 に対し

大阪府は 12,142円 となっています。

### 3. 就労支援事業

#### ①豊能北障害者就業・生活支援センター

平成20年に関係機関と連携した就労に関する相談支援事業所として開所しました。障害者雇用の広がりから、就労を希望する相談が増えています。

近年は、高齢家族からの相談も多く、支援に対する理解を深めてもらうため、平成30年度から様々な方を対象にしたセミナーを実施しています。さらに、令和4年度には、豊能北圏域の就労移行支援事業所を紹介するイベントも実施しました。

今後、「8050問題」など支援機関の垣根を超えた連携が重要になります。また、本事業は、障害者の就労支援における地域のハブとなることが求められています。

引き続き、地域ニーズに沿った切れ目のない支援に取り組んでいきます。

#### ②相談るうぶ

平成27年の開所から、就労支援の強みを活かしつつ、生活支援や児童の支援にも携わり、相談支援の幅を広げています。

当事者に寄り添った支援の向上と複数で対応できる環境を整えているところですが、更に幅広い相談に対応し、新規契約者を徐々に増やすことで、報酬が増えるよう取り組んでいます。

#### ③箕面市障害者雇用支援センター

P.8「②箕面市障害者雇用支援センターの取り組み強化」の項で記載。

### 4. 管理事業

#### ①計画的な車両更新等による経費の低減

車両更新計画に基づき、平成30年度より、維持費が高額となっていた登録から15年超の高年式車両を中心に、5台を買い替え、2台をリース車両へ切り替えるなど、計7台について負担の平準化を図りました。

また、使用状況を精査し、令和元年度に1台を減車し、更新した車両の維持費とあわせ、経費の低減に努めました。

#### ②経常経費の適正管理

令和元年度にグループウェアを導入し、令和2年度には全業務PCをリースへ切り替えを行い、令和3年度にはファイルサーバの更新を行いました。業務の効率化に必



要な投資は計画的に行いつつ、通信運搬費や委託料にかかる契約の見直し、消耗品・備品等の適正管理、予算積算・執行管理を徹底し、各事業における経常経費の節減に努めました。

### ③理事会・評議員会等の開催

事業運営や規則改正等の案件については、法律及び本事業団定款等で定められたとおり、適宜、理事会・評議員会へ諮ってきました。

### ④基本財産等の運用

満期を迎えた債券や定期預金の運用方法について、証券会社・信用金庫等からの情報収集を行いながら、効果的な運用に努めました。なお、市場金利動向が低調なため、当面の間、運用益については減少傾向が続く見通しです。

## IV. 本計画における運営の基本方針

### □ 障害者の働く場の安定運営

既存事業に加え、新たに実施する「環境クリーンセンター受入対応等業務」を通して重度障害者の働く場を維持しつつ、国制度等を注視しながら多様な働き方について模索していきます。

### □ 地域に根ざした各事業の実施

障害者優先調達推進法の更なる推進のため、行政や関係機関との調整を積極的に行っていきます。あわせて、雇用助成の今後のあり方について議論を深め、持続可能な取り組みを継続していきます。

### □ 収支相償を原則として、持続可能な財政運営

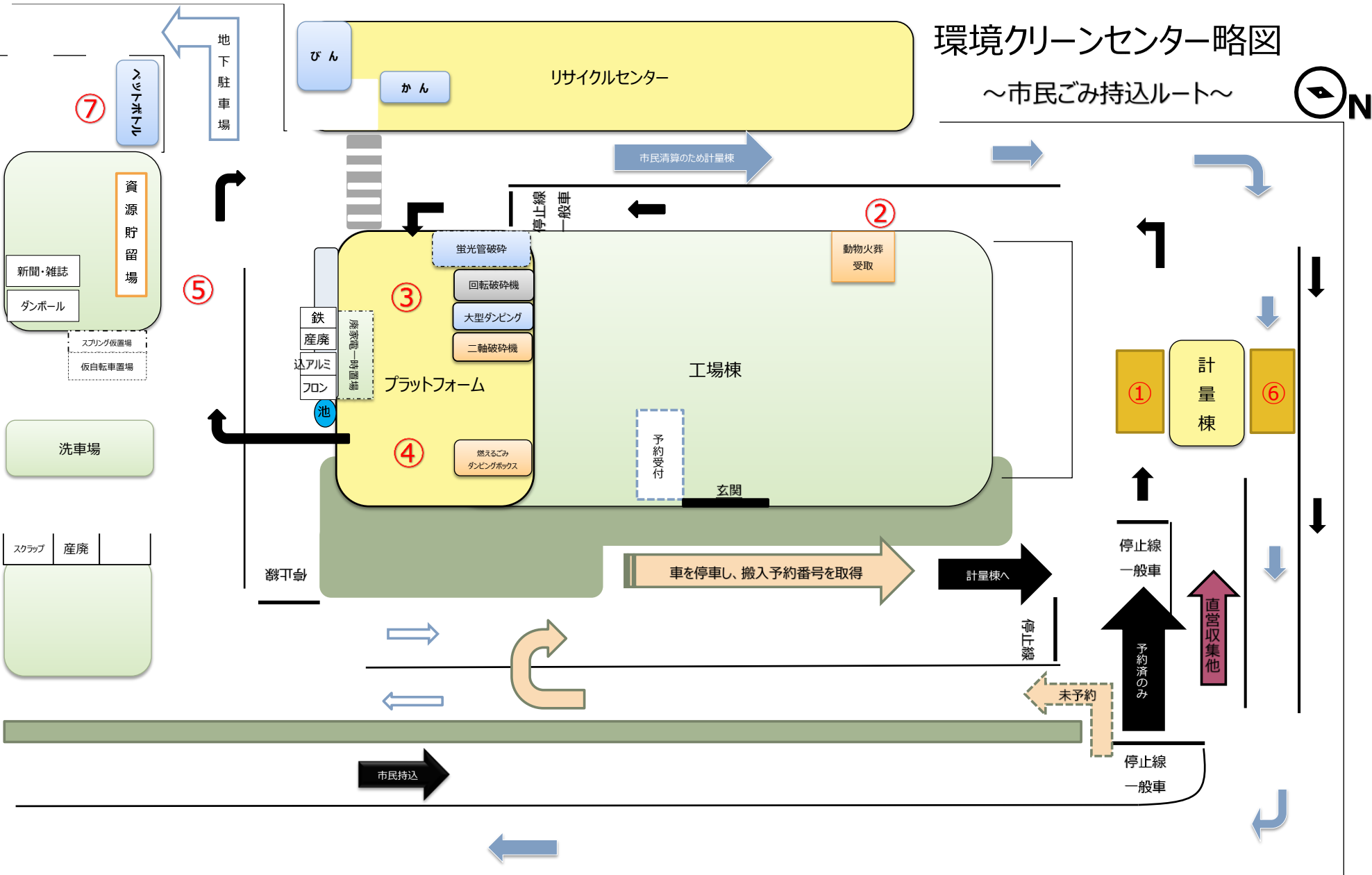
財政調整積立金に依存しない自立した運営の早期実現をめざします。

# V. 目標及び事業展開

## 1. 重点事業

### ①環境クリーンセンター受入対応等業務

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	「新箕面市アウトソーシング計画」に基づき、箕面市と荏原環境プラント(株)との間で業務委託契約を締結された環境クリーンセンターの業務のうち、持ち込みごみの「計量」「受入」「ペットボトルの減容」等の業務について、事業団も参画し1号職員とともに実施します。				
行動目標	市OBの協力を受け、安全な作業手法を構築する		安全な作業手法のもと、必要な人員体制を維持しながら、安定的に運営する		
	1号職員の採用の検討				
	1号職員の体制 = 2名		1号職員の体制 = 3名、他部署とのジョブローテーションの検討・実施		
	業務に必要な備品の整備	ペットボトル減容業務のワークシェアの検討・試行	ワークシェアの開始		
委託料	81,000千円	81,000千円	81,000千円	81,000千円	81,000千円
人件費	55,113千円	56,025千円	60,086千円	61,040千円	62,004千円
諸経費	24,105千円	23,988千円	18,188千円	15,988千円	15,288千円
管理費	1,782千円	987千円	2,726千円	3,972千円	3,708千円



## 箕面市環境クリーンセンターでの事業団の業務

### 工場棟

計量業務

プラットフォーム業務  
(危険ごみ処理等)

### リサイクル棟

ペットボトル減容業務

かんびん選別業務・清掃業務

### 新規事業

#### 【具体的に実施する業務】

- ①⑥ 計量業務（受付・手数料精算）
- ② 動物・廃家電案内業務
- ③ 選別業務
- ④ スプレー缶・乾電池・蛍光管・スプリング入りマットレス等の処理業務
- ⑤ 資源物売り払い業務、重機等管理業務
- ⑦ ペットボトル減容業務

#### 【1日あたりの人員配置】

- ① = 1名、⑥ = 1名
- ②～⑤ = 7名～9名
- ⑦ = 選別：2名～3名、重機操縦等：2名

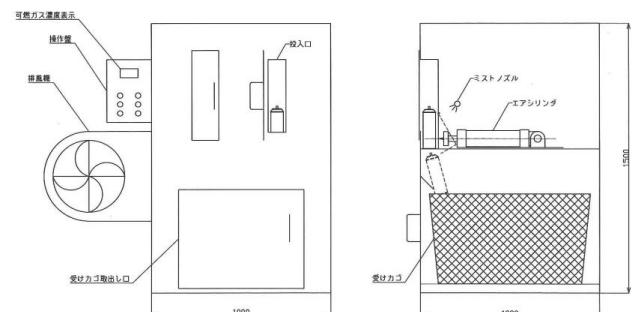
#### 【障害者職員が実施可能な業務】

##### ①⑥ 計量業務（受付・手数料精算）

- ・ 共通：伝票等の受け渡しができる
- ・ 共通：バーコードリーダーでの読み取り操作ができる
- ・ ①：予約番号や身分証の確認などの簡単なコミュニケーションができる
- ・ ⑥：自動精算機の操作ができる

##### ④ スプレー缶・乾電池・蛍光管の処理業務

- ・ スプレー缶を処理装置の投入口に1本ずつセットできる
- ・ ポリ袋に入った乾電池を取り出せる
- ・ 蛍光管を破碎装置の投入口に1本ずつ投入できる
- ・ 共通：単純作業を反復して続けられる



##### ⑦ ペットボトル減容業務

- ・ キャップやラベルを除去できる

※ 車イス利用者の作業参加の可能性について検討します。

※ ワークシェアの検討・試行は「優先調達事業等調整会議」の場で議論を進めます。

## ②箕面市障害者雇用支援センターの取り組み強化

### 【これまでの取り組み】

平成8年の開所から、制度の変遷など、取り巻く状況の変化に対応してきました。支援に関しては変わることなく地域ニーズに沿って取り組んでいます。

平成30年度には「就労定着支援」を開始し、令和元年度には支援環境を整備するためフロアの一部を改修しました。

しかし、大阪市内や近隣に同種事業所が増加したこともあり、利用者数が思うように伸びず、あらためて調査すると「就職に向けじっくり準備したい」とのニーズが増えていることがわかってきました。

そうしたニーズに応えるべく、令和2年度に就労継続支援B型を併設した多機能事業所に移行しました。

ただ、コロナ禍で利用者は増えず、令和2年度は2,000万円に迫る大幅な減収となりました。

### 【強化とその成果】

これまでの就職実績や事例について、就業・生活支援センターと連携して広報活動に注力した結果、利用者が増え、令和3年度は直近平均の約900万円減まで収支は改善しました。

### 【今後の課題】

#### ① 利用者の確保

環境が整い利用者が増加した一方で、就職者を送り出すと利用者減になりますので、新規利用者の確保に向けて積極的に広報活動を行っています。また、就職に繋げる支援の継続は欠かせません。

#### ② 令和6年度に障害福祉サービス等の報酬が改定されます。（「就労選択支援（仮称）」の新設など）

#### ③ 多機能事業所に移行した成果を検証し、さらなる改善を行います。

## 今後の事業展開

### □ 利用のきっかけとなる情報発信の継続

- ・ 事業団ホームページを活用し、就労支援事業全体で連携した広報活動を継続します。
- ・ 就業・生活支援センターからは求人やイベント情報を発信し、相談るうぷでは利用ニーズ等を把握します。
- ・ 学校や支援機関との顔の見える関係性を持続します。

### □ 令和5年度以降の安定的な運営をめざす

- ・ 支援体制加算の対象となる研修の受講を通して、計画的な人材育成を行います。
- ・ 就職後の6ヶ月定着者を定員の「4割以上」を目標とし、報酬ランクの上位を維持します。
- ・ 多機能全体での1日平均利用者数（移行、B型）の安定的な確保に努めます。

### □ 利用ニーズに沿った支援を意識した支援体制の整備

- ・ 関係機関、就業・生活支援センター、相談るうぷと連携して、支援ニーズや近隣の動向について、情報収集に努めます。
- ・ 多機能事業所の成果を検証し、利用ニーズに沿った支援メニューを工夫します。

### □ 「総合支援法の3年毎の見直し」に関する情報収集

- ・ 新設される「就労選択支援（仮称）」について、実施の可否を検討します。
- ・ 現行の「B型から移行」を原則とし、利用者の状況に応じた利用の在り方についても考慮するなど、就職に向けた効果的な支援に努めます。

## 多機能事業所

### 「就労移行支援」

定員：12名

一般企業などへの就職を希望する人に対し、就労に必要な支援サービスを提供します。利用期限は原則2年で

### 「就労継続支援B型」

定員：10名

個々に応じた活動の場を提供し、独自に設けた2年間の利用期限で就労へのイメージを身につけ、就労移行支援の利用に繋がります。

### 「就労定着支援」

一般企業等での就労者を対象に、就職した6か月後から、就職後最長3年6カ月経過するまで、職場定着のために必要な支援を行います。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	「就労移行支援」「就労継続支援B型」「就労定着支援」の運営を通して、就職をめざす障害者を対象に、個々の希望や適性に応じた活動の場を提供するとともに、就職に向けた支援を実施します。就職後も定着のための支援を実施し、段階的に就業・生活支援センターに支援を引き継いでいきます。				
行動目標	就職への送り出し・利用者確保・広報活動・利用者ニーズに沿った支援の工夫・支援体制の整備				
	多機能事業所（就労移行・就労継続B型）の成果を検証			開所30周年	
	「就労選択支援（仮称）」実施の可否を検討		報酬改定に応じた体制の整備		
	報酬改定に応じた体制の整備		報酬改定に応じた体制の整備		
	収支の改善	安定的な事業運営			
報酬	41,573千円	42,390千円	42,314千円	42,485千円	42,818千円

## < 報酬シミュレーション >

### ● 移行…就労移行支援（利用期限は2年）

報酬単価…令和4年度は最上位（計画策定時点）

令和5年度以降は上位から2番目で計算

（1ランク下がると約500万円減収）

1日利用平均…定員の12人以上で計算

### ● B型…就労継続支援B型（当法人での運用ルールで利用期限2年）

報酬単価…平均工賃月額により決定（全8ランク）

令和3年度から令和9年度まで最低ランクで計算

（最上位702単位～最低ランク566単位、1単位＝10.68円）

1日利用平均…段階的に定員の10人になると想定して計算

### ※ 定員超過減算の基準（基本報酬の30%減算）

### ● 定着…就労定着支援（就職後、3年6ヶ月まで利用可能）

1日の利用者> 定員×150%、3ヶ月平均> 定員×125%

報酬単価…上位から2番目で計算

報酬	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
移行	40,611千円	21,960千円	27,590千円	32,698千円	29,604千円	30,742千円	29,482千円	27,102千円	27,327千円
B型			4,807千円	7,848千円	9,156千円	9,156千円	10,421千円	12,972千円	13,080千円
定着	1,523千円	1,134千円	1,880千円	2,894千円	2,813千円	2,492千円	2,411千円	2,411千円	2,411千円
合計	42,135千円	23,094千円	34,277千円	43,440千円	41,573千円	42,390千円	42,314千円	42,485千円	42,818千円

利用者数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
移行（1日平均）	13.7人	9.1人	9.8人	12人	13人	13.5人	13人	12人	12人
B型（1日平均）			3.7人	6人	7人	7人	8人	10人	10人
定着（年間）	35人	40人	65人	72人	70人	62人	60人	60人	60人

### ③収益事業の収益改善に向けた取り組み

#### 喫茶店運営事業

商工会議所の助言のもと、『顧客アンケート』を実施し、101名の貴重なご意見を運営に活かしました。さらに、原材料費の高騰を受けた価格改定を行い、収支改善に努めました。

また、安心して来店いただける取り組みとして、大阪府認証制度「ゴールドステッカー」を取得し、箕面産の食材を使用したメニューやアレルギー特定原材料（7品目）対応のキッズメニューを提供しています。

#### 物品販売事業

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度は、対前年度比で約2割の減収となりました。

それを受けて令和3年度は、計13台の自動販売機を新設して、収益の改善に努めました。

なお、令和4年度当初予算では、コロナ禍以前の実績まで回復する見込みですが、今後も新規設置に向けた調整について重点的に取り組み、収益の拡大を図っていきます。



ゴールドステッカー アレルギー対応表示

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (当初予算)
喫茶店運営事業	11,768千円	13,126千円	5,344千円	4,268千円	5,710千円
物品販売事業	12,345千円	14,527千円	11,087千円	12,399千円	14,589千円
計	24,113千円	27,653千円	16,431千円	16,667千円	20,299千円

### 今後の事業展開

- ・ 収益事業で働く1号職員1名が、令和5年度に定年を迎えます。
- ・ 物価高騰やコロナ禍による収益面の影響は引き続き懸念されます。
- ・ 自動販売機は、コロナ禍による利用ニーズの変化などへの対応が求められています。

#### 事業展開

- ・ 喫茶店では、顧客ニーズに応えつつも経費の最適化を図ります。
- ・ 働く場や実習の場としての役割を意識した運営を行います。
- ・ 自動販売機の設置拡大とあわせて、周辺環境への配慮や点字表示などのバリアフリー化を推進します。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	喫茶るうぷライフプラザ店の運営を、1号職員中心に行います。地域に愛される店づくりに向けたメニュー開発やイベント等を企画・実施することで、店舗の認知度を高めながら、収益確保をめざします。あわせて、箕面市内の公共施設に自動販売機を設置し、収益確保に努めます。また、新規設置に向けた情報収集や交渉を引き続き行います。				
行動目標	1号職員定年に際しての支援とフォロー				
	喫茶：メニュー開発や各種イベントの企画、SNSやホームページ活用した情報発信				
	自販機：自動販売機の設置場所の開拓と情報収集。利用が低迷している自動販売機の対応についてベンダーと協議等。				
喫茶店運営事業	5,832千円	6,075千円	6,318千円	6,561千円	6,804千円
物品販売事業	15,044千円	15,320千円	15,437千円	15,437千円	16,000千円

## 2. その他の事業

### □ パイロット事業

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	ビルメンテナンス事業については、1号職員中心に確実に業務を実施していきます。また、アートショップグリーンるうぷについては、令和4年度までの議論を踏まえ、市内障害者事業所等と連携して、有効活用の方法について引き続き検証していきます。				
行動目標	ビルメンテナンス事業の安全かつ確実な事業運営				
	アートショップの新たな運用	検証・必要な見直し	検証・必要な見直し	有効かつ持続可能な活用	
委託料	7,924千円	7,992千円	8,060千円	8,128千円	8,196千円

### □ 啓発事業

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	箕面市から委託を受け「みんなで考える障害者福祉啓発講座」を年3回実施します。				
行動目標	年3回講座を実施	年3回講座を実施	年3回講座を実施	年3回講座を実施	年3回講座を実施 1号職員の定年 = 1名
委託料	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円

### □ 受託事業

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	緑化推進事業、リサイクルセンター運営事業等における受託事業について、1号職員とともに実施します。なお、漸次、1号職員が定年を迎えるため、持続可能な事業実施体制について検討を進めます。				
行動目標	安全かつ確実な事業運営				
	1号職員の定年 = 1名	1号職員の定年 = 1名			
委託料	103,713千円	104,213千円	104,713千円	105,213千円	105,713千円

### □ その他パイロット事業（障害者優先調達事業）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	「ライブラ日常清掃」及び「図書修理」事業を受託し、市内4事業所へ業務をシェアして利用者の工賃向上を図ります。また、資源ゴミ回収を通して、より体力的に低負担な業務を検証しつつ、市内公共施設等から排出される資源ごみを回収し、再資源化に寄与します。				
行動目標	円滑な業務の実施				
			ライブラ日常清掃契約満了・契約更新		
委託料	3,000千円	3,100千円	3,150千円	3,300千円	3,300千円

## □ 豊能北障害者就業・生活支援センター

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	身近な地域で安心して就業生活を送ることができるように、地域の関係機関と協力・連携し、相談や助言、職業準備訓練や企業実習の斡旋などを通じて、企業で働くために必要な相談支援を行います。				
行動目標	就職への送り出し ・ 広報啓発活動（当事者、関係機関、企業向け） ・ 登録者ニーズに沿った支援の工夫 ・ 支援体制の整備				
	情報収集 「就労選択支援（仮称）」 「障害者の法定雇用率」引き上げ 「総合支援法」見直し			情報収集 「障害者の法定雇用率」引き上げ 「総合支援法」見直し	20周年イベントの準備
委託料	35,000千円	35,300千円	35,500千円	35,800千円	36,000千円

## □ 相談るうぷ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	障害のある方からの相談に応じ、障害福祉サービスを利用するために必要な「サービス等利用計画」及び「障害児支援利用計画」を作成します。				
行動目標	契約者（児）のニーズに沿った支援の工夫 ・ 支援体制の整備				
	情報収集 「就労選択支援（仮称）」 「総合支援法」見直し 加算対象となる研修受講		開所10周年	情報収集 「総合支援法」見直し	
報酬	2,100千円	2,200千円	2,200千円	2,300千円	2,300千円

## 就業・生活支援センター、相談るうぷの直近5年の収支状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (当初予算)
雇用安定事業	24,676千円	24,971千円	25,648千円	25,889千円	25,889千円
生活支援事業	6,248千円	6,251千円	7,534千円	6,251千円	6,251千円
市補助金	2,500千円	2,500千円	2,500千円	2,500千円	2,500千円
計画相談支援事業	2,204千円	2,054千円	1,832千円	1,709千円	1,813千円
その他		253千円	98千円	197千円	226千円
計	35,628千円	36,029千円	37,612千円	36,546千円	36,679千円

### 【比較的安定した収入】

- ・ 雇用安定事業：人件費、諸経費相当額の委託料（国10/10）
- ・ 生活支援事業：人件費、諸経費相当額の委託料（国1/2、府1/2）
- ・ 市補助金：障害者市民への支援員加配のための補助金（市10/10）

### 【変動要因】

- ・ 計画相談支援事業：支援実績に応じた給付費
- ・ その他：豊能町委託の雇用相談（定額）、講師謝金等（変動）



## □ 管理事業

2号職員の給与制度改革の効果を検証し、3年毎の見直しについて進捗の管理を行います。

### <内 容>

#### □ 原則定期昇給がある2号職員について

- ①昇給幅の抑制
  - ②各種手当の見直し
  - ③賞与支給率の変動制
- 等の見直しを行い、将来負担の低減を図っています。

60歳定年後も継続雇用職員として引き続き活躍できる制度を整備するとともに、体制を工夫し人件費の圧縮を図りました。

### <現時点での評価>

・令和3年度～5年度の3ヶ年は経過措置期間中ですが、一定の経費抑制の効果は出ています。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (当初予算)
実績	88,903千円	93,652千円	96,002千円	89,369千円	90,024千円
			旧制度	94,185千円	95,780千円
			新旧差	<b>-4,816千円</b>	<b>-5,756千円</b>

## その他、管理事業の事業展開

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	予算執行、人事及び給与、文書、規則等の適正管理に努めるとともに、定期及び必要に応じて理事会・評議員会を開催し、法人全体の事業運営に関する手続きを遺漏なく実施します。				
行動目標	給与制度の見直し議論 リース車1台の買取 所有車1台の減車	理事・評議員の改選		理事の改選 給与制度の見直し議論 債券1億円の満期	

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
効果額	-561千円	439千円	439千円	439千円	439千円
累積効果額		<b>-122千円</b>	<b>317千円</b>	<b>756千円</b>	<b>1,195千円</b>

## VI. 収支計画

### 直近5年の収支状況

平成30年度より積立金の取り崩しによる事業運営が続いています。特に令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、さらに積立金に依存した財政状況となっています。

(単位：千円、平成30年度～令和3年度は決算)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (当初予算)	
人件費総額	(66人)	<b>187,770</b>	(67人)	<b>195,290</b>	(61人)	<b>199,309</b>	(58人)	<b>188,543</b>	(59人)	<b>195,750</b>
うち、1号職員	(13人)	28,497	(12人)	26,208	(12人)	27,420	(13人)	29,112	(13人)	30,274
うち、2号職員	(17人)	88,903	(16人)	93,652	(16人)	96,002	(14人)	89,369	(14人)	90,024
うち、臨時職員	(36人)	70,370	(39人)	75,429	(33人)	75,887	(31人)	70,062	(32人)	75,452
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (当初予算)	
支出 (人件費/助成金除く)	<b>64,739千円</b>		<b>64,891千円</b>		<b>60,393千円</b>		<b>55,289千円</b>		<b>63,768千円</b>	
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (当初予算)	
事業活動収入	336,264千円		343,000千円		323,290千円		323,065千円		329,624千円	
事業活動支出(リース含)	336,903千円		349,408千円		348,527千円		338,114千円		353,851千円	
収支差額	<b>-639千円</b>		<b>-6,408千円</b>		<b>-25,237千円</b>		<b>-15,049千円</b>		<b>-24,227千円</b>	

### 今後の見込み

令和5年度から7年度は、新規事業の開始や重点事業の取り組み強化により、一時的経費が増えることで収支差はマイナスとなりますが、令和8年度以降は、着実に収支が改善すると見込んでいます。

(単位：千円)

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
人件費総額	(82人)	<b>238,250</b>	(82人)	<b>240,853</b>	(83人)	<b>245,501</b>	(83人)	<b>246,353</b>	(83人)	<b>248,362</b>
うち、1号職員	(15人)	38,068	(15人)	39,089	(16人)	42,307	(16人)	43,034	(16人)	43,761
うち、2号職員	(16人)	94,624	(16人)	95,706	(16人)	96,635	(16人)	96,261	(16人)	97,043
うち、臨時職員	(51人)	105,558	(51人)	106,058	(51人)	106,558	(51人)	107,058	(51人)	107,558
	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
支出 (人件費/助成金除く)	<b>87,459千円</b>		<b>86,415千円</b>		<b>80,688千円</b>		<b>78,561千円</b>		<b>78,934千円</b>	
	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
事業活動収入	422,801千円		424,782千円		425,675千円		427,204千円		428,866千円	
事業活動支出(リース含)	426,042千円		428,351千円		427,272千円		425,997千円		427,379千円	
収支差額	<b>-3,241千円</b>		<b>-3,569千円</b>		<b>-1,597千円</b>		<b>1,207千円</b>		<b>1,487千円</b>	

(収入・支出とも助成金を含む)

## Ⅶ. 進捗管理

- 毎年度の予算積算、中間監査、決算時に各事業の方針を共有・議論します。
- 中間年度（令和7年度）の状況で目標の再検討・修正を行います。
- 令和9年度にこの間の実施状況を踏まえた次期計画の策定を行います。
- なお、月1回の事務局会議において、進捗状況を確認・議論します。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
具体的な取り組み	中期運営計画策定	状況確認	状況確認	中間年度目標修正	状況確認	次期計画策定
	理事会に諮り、意見等踏まえて計画を策定	理事会、評議員会で進捗を報告し、必要に応じて目標を修正		取り組みを検証し、結果を踏まえて目標を修正	理事会、評議員会で進捗を報告し、必要に応じて目標を修正	取り組みを総括し、次期計画を策定
	予算積算、中間監査、決算時に各事業の方針を共有する					
	事務局会議で共有し議論を進める					

## 【参考】元号西暦対照表

元号	西暦	元号	西暦	元号	西暦
平成2年	1990年	平成15年	2003年	平成28年	2016年
平成3年	1991年	平成16年	2004年	平成29年	2017年
平成4年	1992年	平成17年	2005年	平成30年	2018年
平成5年	1993年	平成18年	2006年		
平成6年	1994年	平成19年	2007年	平成31年・令和元年	2019年
平成7年	1995年	平成20年	2008年	令和2年	2020年
平成8年	1996年	平成21年	2009年	令和3年	2021年
平成9年	1997年	平成22年	2010年	令和4年	2022年
平成10年	1998年	平成23年	2011年	令和5年	2023年
平成11年	1999年	平成24年	2012年	令和6年	2024年
平成12年	2000年	平成25年	2013年	令和7年	2025年
平成13年	2001年	平成26年	2014年	令和8年	2026年
平成14年	2002年	平成27年	2015年	令和9年	2027年